

2025/01/25

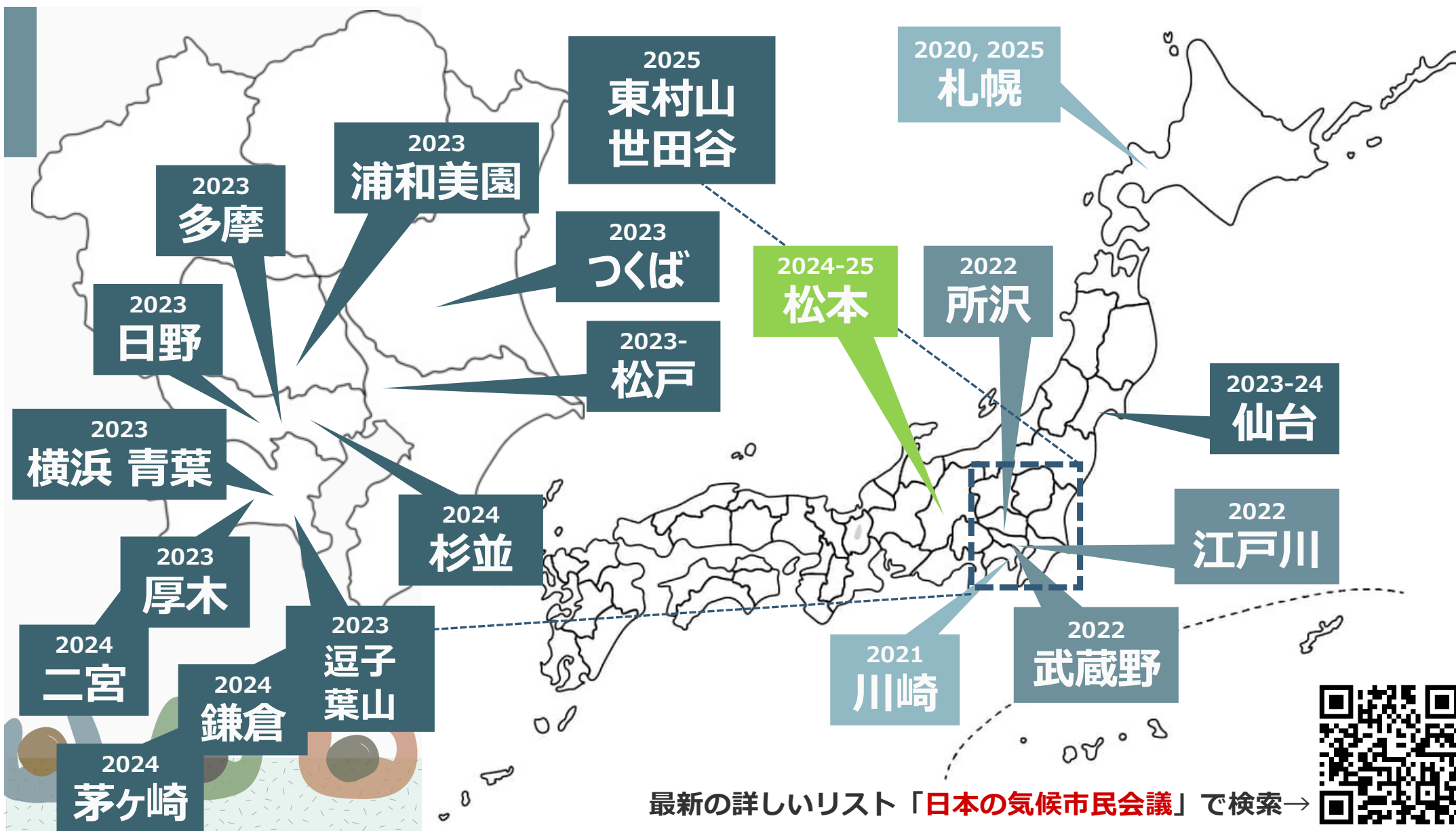
第6回気候市民会議まつもと

三二情報提供

他地域の気候市民会議のその後

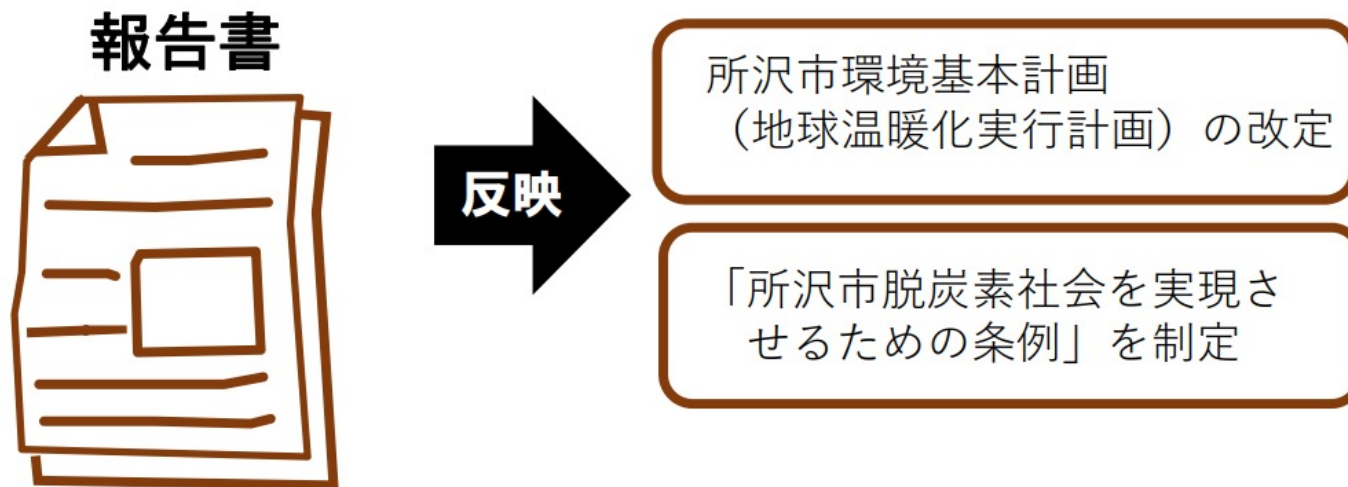
三上 直之

(名古屋大学)



【事例1】 マチごとゼロカーボン市民会議（開催地：埼玉県所沢市）

市民会議の結果を市の施策へ反映



17

出典：「気候市民会議実践ワークショップ」所沢市報告資料

【事例2-1】日野市市民会議（開催地：東京都日野市）

1. カーボンニュートラルシティ H I N O を実現するための前提となる考え方

行政向け提言に対する取り組み状況

提言ID	提言	対応内容	進捗状況
1-3-13	環境問題に関して市民が分かりやすい基準をつくる、日野市独自の認証マークをつくる	留意点も踏まえ、地産地消や環境に配慮した調達を促す仕組みづくりを検討します	検討予定
1-3-14	カーボンニュートラルを実現するプロジェクトチームを作る	各プロジェクトに沿った体制構築を検討します	検討予定
1-3-15	環境問題に関して何でも気軽に相談できる窓口を作る、誰一人取り残されない仕組みをつくる	環境配慮を促進する仕組み（制度）づくりを検討します	検討予定
1-3-16	公共施設の二酸化炭素の排出量とそれに対する評価、その後に必要となる取り組みを定期的に公表する（施設単位でカーボンニュートラルを達成する）	公共施設の環境性能向上	施策企画中
1-3-17	環境問題に対する市民、事業者の取り組みや研究開発を支援する（助成・減税を含む）、環境に配慮している事業に優先的に助成する	留意点も踏まえ、環境配慮を促進する仕組み（制度）づくりを検討します	検討予定
1-3-18	議員が環境問題を政策として取り上げ、周知、啓発する	市民会議からの提言内容として、提言書のHP掲載や公共設置により周知します	施策展開無し
1-3-19	国が中心となって環境問題に対する取り組みを進める	（国向け）	
1-3-20	古い慣習に縛られずに、ゴミ有料化と同じような大胆な政策を立案し、実行する	取り組みの輪を広げ、より広範で効果を得られるよう、施策を検討します	検討予定
1-3-21	本提言書をもとに啓発資料としてとりまとめたもの等を駅や公共施設、商業施設など、多くの人の目に留まる場所で配布する、事業者への説明会を開催して周知する	【既存】提言書を市HPに掲載したほか、図書館や行政施設に印字したものを設置しています	既存施策
1-3-22	本提言書に書かれた政策や取り組みの進み具合を「見える化」して評価するために、市民又は第三者による評価を実施する	【既存】環境の保全等に関する施策の推進について、調査審議することを目的に、日野市環境審議会が日野市環境基本条例で市長の附属機関として位置づけられています	施策展開無し

【事例2-2】 日野市・多摩市 合同気候市民会議（開催地：東京都日野市・多摩市）

日野市 × 多摩市 コラボ企画!

気候市民会議

NEXT

2025 1.11 SAT 14:00-17:30
◎東京たま未来メッセ 第2会議室

地域を超えて進める、
気候アクションを
考えよう!

日野市・多摩市の合同企画による「気候市民会議 NEXT」では、2023 年に各市で開催した会議の成果を持ち寄り、まちの範囲を超えて、力を合わせて取り組むべきアクションなどについて話し合います。



出典：日野市ウェブサイト
(<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/kankyo/1026638/1028064.html>)

【事例3】 あつぎ気候市民会議（開催地：神奈川県厚木市）

経緯

2月17日
報告会で
さっそく実現

第5章 脱炭素アクションプランを具体化、実践、定着していくための取組み

(1) 市民協働の継続

2) 市民協働の連携体制構築

市民は市民協働を継続し脱炭素市民アクションプランの実践に取り組む。

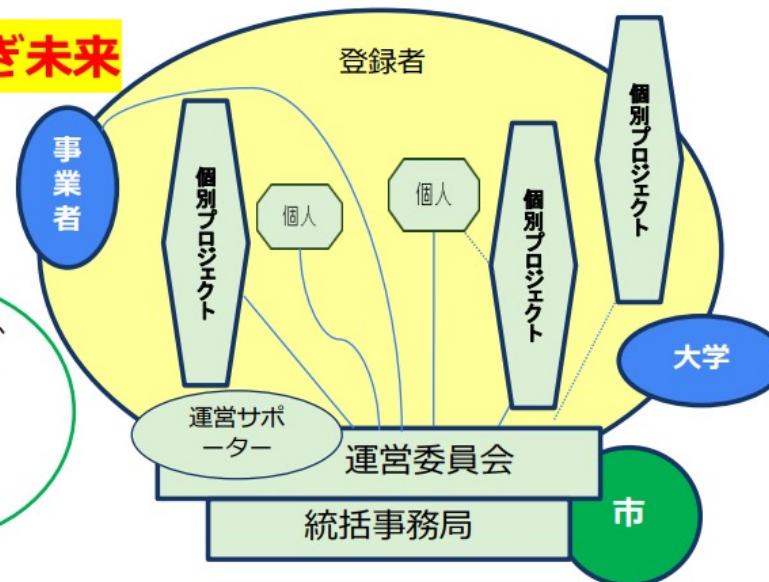
市民と市は連携体を作り、協働によりカーボンニュートラル実現を早く確実に達成することを目指す。

新規連携体：カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクトを立上げ

- ◆ アクションプランの普及
- ◆ 具体的なアクションを始める、アクションを支援する：アクションしたい人が相談協力しながら動けるようなゆるやかな仕組み
- ◆ つながる（地域内、他地域と）
- ◆ 進捗評価
- ◆ 市との情報交換・意見交換・提案

あと2年は厚木市市民協働提案事業として
その後も継続できる方法を探る
資金調達も含めなるべく市民独自性を維持したい

会議参加市民、
実行委員会ス
タッフ市民
未来プロジェ
クトへの参加
意思表示あり



組織イメージ

3



出典：「カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト」キックオフミーティング資料

【事例4】 田園都市青葉・気候市民会議（開催地：横浜市青葉区）

学習と市民交流 「脱炭素あおばづくり」

主催：横浜あおば脱炭素しみんの会

全企画：
参加費無料

青葉区民の皆さまにもご参加いただき、青葉区の脱炭素の実現に向けた学習会などの企画を用意しました。10代・20代の若いみなさんから高齢の方まで、学生、会社員、技術者、主婦など職を問わず、関心のある企画にぜひご参加ください。

企画一覧（複数の企画にお申し込みいただけます）…詳しくは裏面参照、会場も裏面参照

【1】 2月2日（日） 13:30～16:00

場所：あおばコミュニティテラス（市が尾）

「脱炭素青葉づくりー情報交流の場」

- ・「リペアカフェの物語ドキュメンタリー」上映
- ・自由な意見交換

【4】 2月16日（日） 14:00～15:30

場所：あおばコミュニティテラス（市が尾）

「生ごみのゆくえ～」

- ・青葉区資源循環局からのお話と
- ・参加者の間でたい肥についての懇談

【2】 2月9日（日） 13:30～16:00

場所：スプラス青葉台3階（青葉台）

学習会「住まいの断熱対策の推進」

- ・専門家によるレクチャー
- ・青葉市民の実体験の報告

【5】 2月22日（土） 13:30～16:00

場所：スプラス青葉台3階（青葉台）

学習会「太陽光発電・熱利用の導入促進」

- ・事業者に聞く：初期投資ゼロ円の可能性
- ・意見交換

出典：環境政策対話研究所ウェブサイト（<https://inst-dep.com/free/sousei/>）

【事例5】 気候市民会議さっぽろ2025（開催地：札幌市）



出典：札幌市ウェブサイト (https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/climate_citizens_assembly/2025.html)

開催タイプ別の展開いろいろ

- **【行政主催型】** 行政が単独で主催し、結果を自治体による公式の気候変動対策に関する計画の策定や改定に用いる
- **【市民主導・協働型】** 市民団体などが提案・主導して、行政も含む地域の他の主体と協働して会議を企画・運営し、結果を市民の取り組みや自治体の政策、事業者への働きかけなどに生かす
- **【研究機関主導・モデル開発型】** 研究者、研究機関などが主導して、気候市民会議の活用の新たなモデルの開拓を試みる



参考：三上直之「日本の地方自治体における気候市民会議の展開」『都市問題』2024年1月号, 19-25頁.